

(2) 第2学年の実践

①単元名

形であそぼう

②単元の目標

- ・形を表す英語のリズムを感じる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・欲しい形を伝えたり、渡したりする表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・学習した表現を使い、相手意識をもち、コミュニケーションを図ろうとしている。(言語や文化への気付き)

③仮説検証についての具体的取組

<p>仮説1-①「興味・関心を高める場面設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションへの関心・意欲を高めるために、「家族にオリジナルのうちわを作ろう」という場面を設定することで、積極的にほしい形を伝え合えた。 ○うちわに込めた家族への思いを紹介して、児童の思いや願いを表現させるようにした。
<p>仮説1-②「英語に慣れ親しませるための工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌やチャンツを活用し、リズムにのって楽しく活動できるようにした。 ○クイズやゲームを取り入れ、意欲的に活動できるようにした。 ○児童が自信をもって発話できるように、一人で発音する場、ペアやグループ、全員での活動の場を確保した。
<p>仮説1-③「コミュニケーション活動の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションでは、相手をよく見て、笑顔で、はっきり話すことを意識させた。 ○会話の中でのリアクションを取り入れ、会話をはずませるようにした。 ○支援を要する児童には、必要に応じて声掛けや助け合いを行った。
<p>仮説1-④「評価の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中間評価を行いモデルの児童を示すことで、コミュニケーション活動のポイントを確認できた。 ○ふり返しカードを活用し、活動の様子を把握し、次時の学習に生かした。自己評価により、次時の活動への意欲につなげた。
<p>仮説2-②「他教科他活動との関連」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図画工作との関連を図り、家族が喜ぶうちわのオリジナルのデザインを考えた。

④本時の学習 (3/3)

過程	学習活動	教師の支援・児童の様子
<p>たしかに出会う</p>	<p>1 Greeting あいさつをし、歌を歌う。</p> <p>2 Warm up チャンツ、キーワードゲームをし、発話練習をする。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>Hands on your head.</p> <p>キーワードは diamond だよ。</p> </div> </div> <p>3 Today's goal 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友だちとやりとりをして、オリジナルのうちわを作ろう。 ～かぞくがよろこぶ、オリジナルうちわ～</p> </div>	<p>○歌に合わせて体を動かすことで、楽しく活動できる雰囲気をつかった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【仮説1-②】</p> <p>チャンツは、タンバリンを使い、リズムを変えて楽しめるようにした。ペアで行ったキーワードゲームでは、形の発音を聞き取ること重点を置き、発音することで語彙や表現に慣れ親しんだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【仮説1-①】</p> <p>「家族にオリジナルのうちわを作ろう」という場面を設定することで、積極的にほしい形を伝え合えた。</p> </div>

かんがえてやってみる

4 Activity1 会話の練習をする。 気をつけたい発音やリズム、コミュニケーションのポイントを話し合う。



A : Hello. B : Hello.
A : What shape ?
B : [] please.
A : Here you are.
B : Thank you.
A : See you.
B : bye.



【仮説 1-②】
児童が自信をもって発話できるように、一人で発音する場、ペアやグループ、全員での活動の場を確保した。

【仮説 1-③】
コミュニケーションでは、相手をよく見て、笑顔で、はっきり話すことを意識させた。

【仮説 1-④】
中間評価を行いモデルの児童を示すことで、コミュニケーション活動のポイントを確認できた。

きづき 親しみ伝え合う

5 Activity2 オリジナルのうちわ作りをする。 A 班と B 班に分かれて、形のやりとりをする。



What shape ?

Diamond please.



ぼくは、お母さんの好きな形をえらんで作りました。色もいろいろ使ってカラフルにしました。

【仮説 1-③】
会話の中でのリアクションを取り入れ、会話をはずませるようにした。支援を要する児童には、必要に応じて声掛けや助け合いを行った。

【仮説 2-②】
図画工作との関連を図り、事前に家族が喜ぶうちわのオリジナルのデザインを考えており、スムーズにうちわ作りができた。

【仮説 1-①】
うちわに込めた家族への思いを紹介して、児童の思いや願いを表現させるようにした。

これまでをふり返る

6 Look back 振り返りシートを書き発表する。



家族がよろこんでくれそううちわができて、よかったです。

ほしい形を上手に集めることができたので、楽しかったです。

【仮説 1-④】
ふり返りカードを活用し、活動の様子を把握し、次時の学習に生かした。自己評価により、次時の活動への意欲につなげた。

7 Ending あいさつをする。